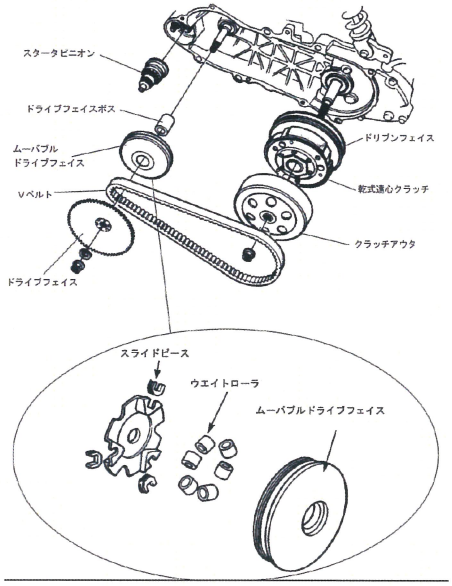
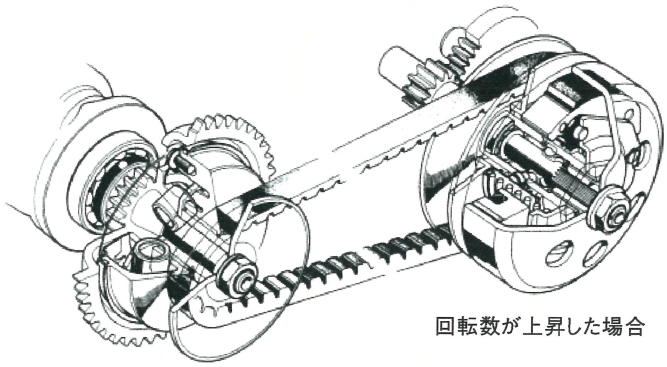
## 簡単操作と高性能を両立した無段変速機（Vマチック）(1)

Hondaは、ロードパル発売後、さらにスムーズで動力伝達効率に優れた高性能な無段変速機（Vマチック）を開発し、1979年発売のカレンに初めて搭載しました。翌年には、Honda初の50ccスクータータクトに搭載し好評を博しました。以降、この機構は50ccスクーターだけでなく最新の250ccや600ccクラススクーターに至るまで、ほとんどのスクータータイプに搭載しています。

無段変速機（Vマチック）はベルト式自動変速機で、スロットル操作や負荷の条件に応じて自動的に変速比が変り、車速や駆動力をスムーズに増減させます。動力の伝達径路は、クランクシャフトが回転するとドライブ（エンジン側）プーリーが回転し、ベルトを介してドリブン（後輪側）プーリーに伝わりプーリーと一体になったクラッチが遠心力でクラッチアウターに接続し、クラッチアウターからドライブシャフトに伝わります。基本構造は、ドライブ/ドリブン2組のプーリーとV字（台形）断面のベルトにより構成。それぞれのプーリーはフェイスと呼ばれる向かい合わせの2枚の傘型部品によりつくられています。

**Vマチックの主要構成部品**



回転数が上昇した場合